

学校だより

第22号

椎の木



令和5年3月1日発行

流山市立東部中学校

生徒数 554名

卒業の季節となりました

3月に入りました。いよいよ3年生にとっては、中学校生活最後の1ヶ月。それも3月は卒業式当日を含めて、登校するのは8日間となりました。

3学期になって、入試が本格化する中、学年全体が非常に落ち着いた雰囲気の入試に向かっていたように思います。そして、入試を終えて登校したときの生徒たちの表情は「やりきった」「できることはやった」というような、そして「ほっとした」という、緊張感が少し解けた顔つきにも見えました。中には「難しかったー」というような表情を見せていた生徒もいたように思いますが・・・。

入試の間、私立等で進路が決まった生徒たちは、学校のために奉仕活動を頑張ってくれました。日常ではなかなかできない作業を分担し、それぞれの持ち場で時間の許す限り作業をしてきていました。とてもありがたいことです。

千葉県の公立高校の発表日は、明後日の3月3日です。入試である以上、合格・不合格がはっきりと出ることになります。もちろん全員が合格になれば良いのですが、なかなかそうはいかないと思います。当日は、自分の目で結果を見てくる方向で進めています。これから義務教育を終えて社会に出る3年生には、合否にかかわらず、しっかりと結果を受けとめ、自分の進路に進んでほしいと願っています。

1・2年生においては、1年生の職業人講話や1・2年生が中心となって行われる小学6年生の新入生体験入学など、「3年ぶり」の取り組みが順調に進んでいます。1年生の職業人講話では、6名の講師の先生方（車掌 落語家 芸能関係 アスリート ホテルマン 保育士）が来校し、職業に就いたきっかけや仕事のやりがい、仕事で大変なこと、大切なことなど、様々な事柄についてお話をいただきました。こういった取り組みも久しぶりに実施することができて、本当に良かったと考えています。

また、新入生の体験では、主に部活動の体験が行われましたが、元気いっぱいの小学6年生が1・2年生の先輩たちと少しの時間ですが、活動を共にしました。体験入学も昨年までは実施を断念していた活動だったので、少しでも中学校の雰囲気を体験し、4月から元気いっぱいに入学してきてほしいと思います。

さて、明日は3年生を送る会です。これは生徒たちによる卒業式と言ってもよいと思います。そして、それぞれの学年が次の学年に向けて、決意を新たにすることやそれぞれの立場で感謝を伝える会として生徒たちにとって大切な行事です。3年生を送る会についても今年は「3年ぶり」に全校生徒が一堂に会して行います。その分、保護者の皆様は入れ替え制や立ち見での参観となってしまい、心苦しいところではありますが、生徒たちのためにご協力をお願い致します。



＜今年もひな人形を飾りました＞

日常活動・学習の成果

＜あいさつ運動強化＞

昨年の6月3日に行われた生徒総会で、生徒たち自身が活動の柱を「あいさつ」と「環境」に決めました。その「あいさつ」について、自己評価項目の「あなたは、自分から気持ちの良いあいさつができていますか」に対して、83.4%の生徒が「そう思う」「ややそう思う」と答えました。逆に「あまり思わない」「思わない」と答えた生徒が16.6%いたということになります。この数字を多いと見るか、少ないと見るか、それぞれ感じ方も違うと思います。そんな中、生徒たちは「あいさつの強化週間」をつくり、自分たちで決めた活動の柱をしっかりと継続しようと頑張っていました。凍えるような寒い朝でものぼりを持って、昇降口前を中心に「おはようございます」と登校してきた仲間に声かけをしていました。日々の小さな活動かもしれませんが、自分たちで決めたことをしっかり実践しようとするその姿勢が、大変うれしく思います。



＜1年生環境学習の成果＞

今年度1年間を通して、1年生が環境や自然災害など防災に関する様々な学習を積み重ねてきました。学習した内容は、しっかりとレポートにまとめ、振り返りを行いました。いくつかのレポートが東部公民館に現在展示されています。

普段なかなか行くことがない公民館かもしれませんが、会議室があったり、自習できるスペースがあったり、生徒のみなさんも一度は足を運んでみてはどうでしょうか。現在は正面玄関を入ると、東部中と同じように、ひな人形がたくさん飾られていて圧巻です。



3月に入り、学習も日常の活動も部活動も各学年としてのまとめの時期です。この1年間で身につけてきたことを、もう一度振り返り次年度への準備をしっかりとしたいと思います。